

KENWOOD

デュアルサイズ CD/MDレシーバー

DPX-07MD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよく読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用する
ことはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ソースセクション

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

イコライザーコントロール

Function

● 使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!

イーजीオペレーション

EZ Operation

EZ Operation

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



SRS
WOW



MDLP

MD GROUP

オプション

リモートコントロール

困ったときは…

Help

Help

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
CDとMDの取り扱い	10

ここさえ読めばひとまずOK！
イージーオペレーション

EZ Operation

CD/MP3/WMA、MD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた …12

リモコンでも操作できるゾ！

リモートコントロール

リモートコントロール …54

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help

Help? MP3/WMA	60
Help? MD Group	62
Help? Multi Key	63
Help? Operation	64
Help? Word	71

取り付け方法など

付 録

取り付け時のご注意	76
接続	78
取り付け	81
保証とアフターサービス	82
仕様一覧	83

使いこなし！ ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ソースセクション	14
ソース選択	
CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード	16
トラック/ファイルサーチ	
ディスク/フォルダ/グループサーチ	
マニュアルサーチ	
ポーズ	
ランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
グループランダムプレイ	
スキャンプレイ	
リピートプレイ	
グループセレクト	
フォルダセレクト	
テキストスクロール	
TUNER モード	22
バンド切り替え	
チューニング	
マニュアルメモリー	
プリセットチューニング	
オートメモリー	
チューナーリストチューニング	
Name Set	26
DNPS (ディスクネームプリセット) /	
SNPS (ステーションネームプリセット)	
漢字の入力	
AUXネームセレクト	
ディスプレイコントロール	30
デモンストレーション切り替え	
時計表示切り替え	
時刻合わせ	
スベアナ切り替え	
動画の選択	
壁紙の選択	
ディスプレイ表示切り替え	

オーディオコントロール	36
オーディオコントロール	
WOWコントロール	
WOW設定	
サブウーファー出力設定	
イコライザーコントロール	40
イコライザーカーブの呼び出し	
イコライザーイージーの調節	
イコライザープロの調節	
イコライザープロメモリーと呼び出し	
(“PRO” モード中)	
イコライザープロメモリーの呼び出し	
(“Easy” モード中)	
Function	46
ファンクションセット	
セキュリティコード	
LXアンプコントロール	

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

TV コントロール	52
チャンネル選択	
バンド／ビデオ切り替え	
プリセットコール	
マニュアルメモリー	
音声多重切り替え	

WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
WOWはSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

ソースセクション

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

イコライザーコントロール

Function

オプション

リモートコントロール

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたを大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

すぐに使いたいのかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

EZ Operationを習得したらここへ。すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機に接続できる別売品の機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

Help	? MP3/WMA	プレイできるMP3/WMAファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。
	? MD Group	グループ登録済みMDの検索機能などを説明しています。
	? Multi Key	マルチキーシステムについて説明しています。
	? Operation	思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
	? Word	取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した「リモートコントロール」、本機の取り付け方法などを説明した「付録」があります。

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



ディスクの操作

MDまたはCD/MP3/WMAをプレイする操作を表しています。
なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。また、MP3/WMAの収録されたCD-Rなどを「メディア」と呼んでいます。



チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



1秒以上押す

1秒以上（または2秒以上）押す操作を表します。

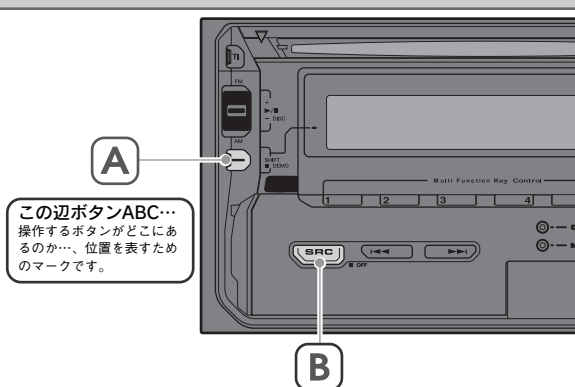


動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
上記では1秒間押すことを示しています。また、メモリに書き込むときなどは2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

上下に動かす

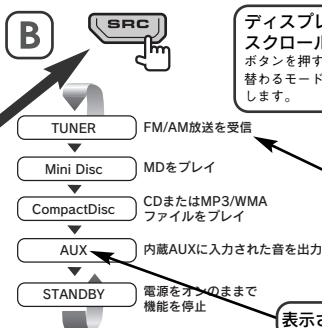
ボタンを矢印の方向に上下に動かす操作を表します。





ソース選択

プレイするソースを切り替えます。



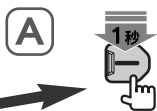
ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

内容の説明

表示される文字または内容

デモンストレーション切り替え

デモンストレーション表示にします。



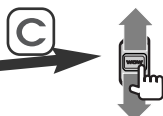
DEMO On

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

“DEMO On”と表示されるまで押し続けます。

WOW設定

SRS WOWの設定を呼び出します。



上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

ソースセレクション

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

イコライザーコントロール

Function

オプション

リモートコントロール

Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



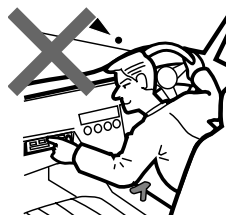
実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）

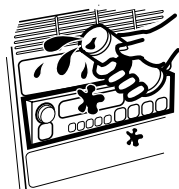


実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

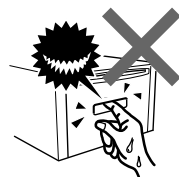
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠ 注意



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種はカタログをご覧ください。

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

本機のDNPS機能はCDチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、CDチェンジャーに記憶されているDNPS可能枚数とは関係なく、すべてのCDの合計で50枚まで記憶することができます。

別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで、またはディスクチェンジャーとLX-BUS接続の機器を1台ずつ接続することができます。接続などの詳しい説明は「接続」(78ページ)および、KCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

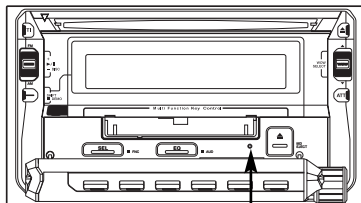
本機のお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Operation」(64ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- CDやMDが取り出せない。
- CDやMDを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“AUX Mode”と表示される。
- KCA-S210A、CA-C1AXが接続されていないときに“AUX EXT”/“AUX Mode”と表示される。

オートアンテナ付き車に 取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

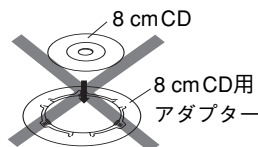
CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

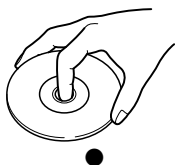
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



CDとMDの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメデ
ィアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ
などにも書かれています。それらの注意事項も読
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テー
プなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど
のノリがはみ出したり、はがした痕があるものは
お使いにならないでください。そのままCDプレー
ヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障
することがあります。



CDの保存

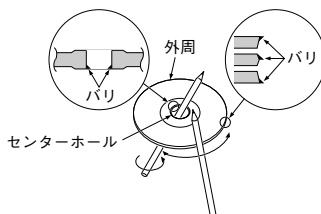
直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの
上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し
て、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保
存しないでください。

新しいCDを使うときは

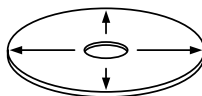
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや
外周部に"バリ"がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できな
かったり音飛びの原因になります。"バリ"があるど
きは、ボールペンなどで取り除いてから使用して
ください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや
柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かっ
て軽くふき取ってください。

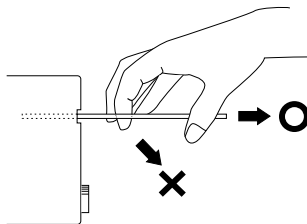
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シン
ナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないで
ください。



CDの取り出し方

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出し
てください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷
を付ける原因となります。



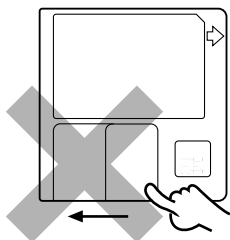
MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

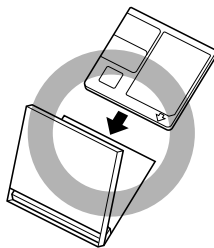
MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



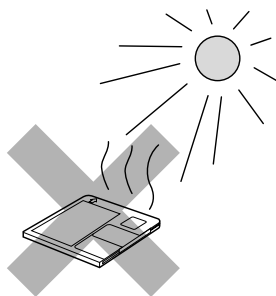
保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。





ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。



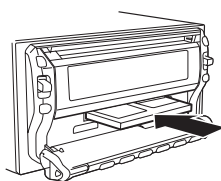
MDをプレイするときは…

オペレーションパネルを開け、プレイするMDを差し込みます。



MDを取り出すときは…

(MD EJECT) を押します。
MDがイジェクトされます。



- プレイ中のMDがLP 2 モードのときは“LP 2”インジケーター、LP 4 モードのときは“LP 4”インジケーターが点灯します。
- 本機はグループ管理機能を搭載しています。詳しくは、「Help? MD Group」(62ページ)をご覧ください。



メモリーされている放送局を選びます。

2秒以上押すと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。



＜ソースキーモード＞にしてください。
＜ソースキーモード＞の詳しい説明は「Help? Multi Key」(63ページ)を参照してください。



交通情報を受信します。

もう一度押すと元に戻ります。



交通情報を受信中に音量を調整すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調整した音量になります。



FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。



次のMP3/WMAフォルダ /MDグループを選びます。



AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。



前のMP3/WMAフォルダ /MDグループを選びます。



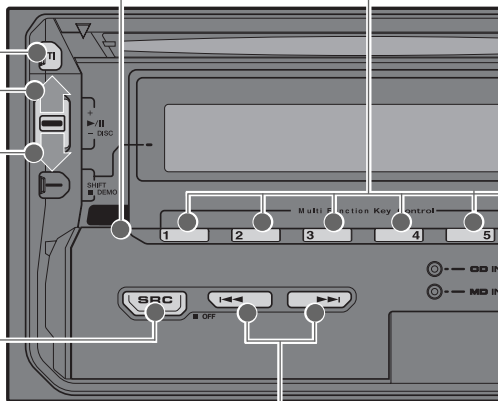
電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになります。
1秒以上押すと、電源がオフになります。



ディスクのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、MD、CD、STANDBYに切り替わります。
MDが入っているときはMD INインジケーターが点灯し、CD/MP3/WMAディスクが入っているときはCD INインジケーターが点灯します。



プレイする曲を選びます。



受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。(46ページ)



交通情報の周波数 (1620kHz/ 1629kHz/ 522kHz)を選びます。



- オペレーションパネルを開けた状態では と は使用できません。
- 開けているオペレーションパネルに無理な力を加えないでください。
- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- オペレーションパネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉の場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。



CD/MP3/WMAの操作



チューナーの操作



共通の操作

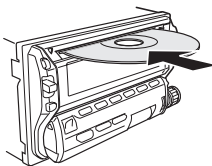
**CD/MP3/WMAをプレイするときは…**

プレイするCD/MP3/WMAディスクを差し込みます。

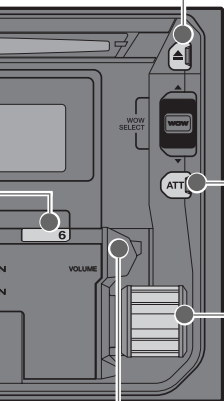
**CD/MP3/WMAディスクを取り出すときは…**

(EJECT) (CD EJECT) を押します。

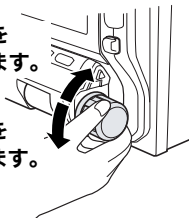
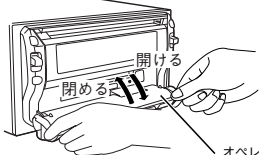
ディスクがイジェクトされます。



プレイできるディスクのフォーマット、書き込み方法の注意などが「使用上のご注意」(8ページ)、「Help? MP3/WMA」(60ページ)に記載してあります。ディスクを作成する前にご覧ください。

**音量を素早く下げます。**

もう一度押すと、元の音量に戻ります。

**音量を上げます。****音量を下げます。****オペレーションパネルを開閉します。**

オペレーションパネル

オペレーションパネルの両端をつかんで開閉します。



オペレーションパネルの開閉は、指などを挟まないようオペレーションパネルの両端をつかんで行ってください。

ソースセレクション

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

イコライザーコントロール

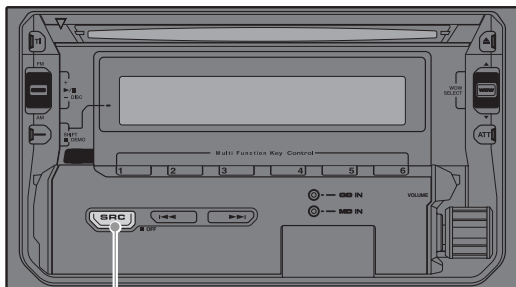
Function

オプション

リモートコントロール

Help

ソースセレクション/



A

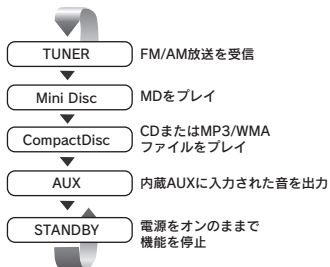
ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

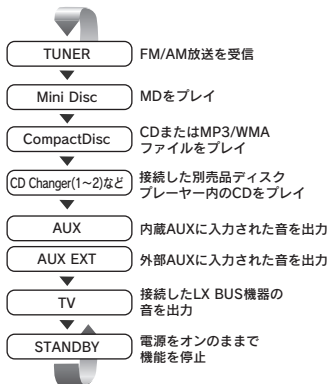
A



押すたびに次の順で切り替わります。



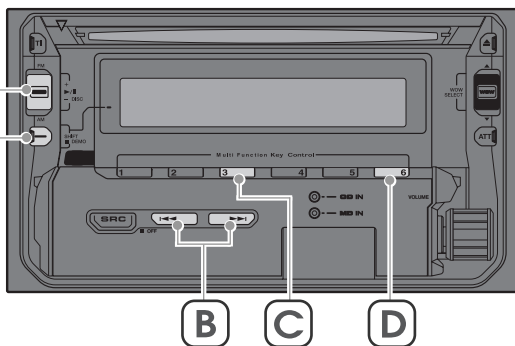
別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



プレイするソースを選びます。

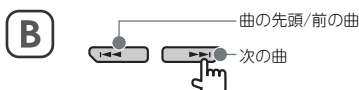
- CD/MP3/WMAをプレイするときは、ディスクが挿入されているときに“CompactDisc”表示を選択します。
- AUXソース (“AUX”) には「ファンクションセット」(46ページ) の“内部AUX”項目が“On”に設定されているときに切り替わります。
- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
“CD Changer (1~2)” : CDチェンジャー
“MD Changer (1~2)” : MDチェンジャー
“Disc Changer (1~2)” : ディスクチェンジャー
“HDD EXT” : HDX-710 (別売品) などの音楽ファイル (KSF) ソース
- 別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXに入力したAUXソースは、次のように選択できます。
KCA-S210Aに入力したAUXソースを選ぶ場合 :
“AUX EXT” 表示を選択。
CA-C1AXに入力したAUXソースを選ぶ場合 :
“Disc Changer” 表示を選択。
(確定後に“AUX Mode”表示になります)

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード



トラック／ファイルサーチ

プレイする曲を選びます。



ディスク／フォルダ／グループサーチ

(ディスクチェンジャー、MP3/WMAメディア、KSF、グループ登録済みMDのみ)
プレイするディスクやフォルダを選びます。



マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

- KSFをプレイ時は、マニュアルサーチできません。
- MP3/WMAファイルをプレイ時はマニュアルサーチ中に音はできません。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



もう一度押すとプレイを再開します。


ランダムプレイ

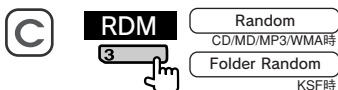
現在のディスクやフォルダ、全グループ内の曲をランダムな順でプレイします。

Before CHECK


<ソースキーモード>表示の状態で作動します。



<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中は“RDM”が反転表示されます。

-  を押すと、次の曲をランダムに選択します。(KSFプレイ時は④FM/AMキーを選択します)
- 全グループ内の曲をランダムプレイ中に、グループサーチはできません。

CD/MD/MP3/WMAや別売品のディスクチェンジャー、HDX-710の音楽ファイル（KSF）ソースでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCD/MDの聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」（63ページ）をご覧ください。

● マガジンランダムプレイ

（ディスクチェンジャーのみ）

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

<ソースキーモード>が表示していない場合は、を押します。



MRDM



M-Random

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。マガジンランダムプレイ中は“MRDM”が反転表示されます。



を押すと、次の曲をランダムに選択します。

● グループランダムプレイ

（グループ登録済みMDのみ）

グループ登録済みMDを再生中にグループ内の曲をランダムな順でプレイします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

<ソースキーモード>が表示していない場合は、を押します。



GRDM



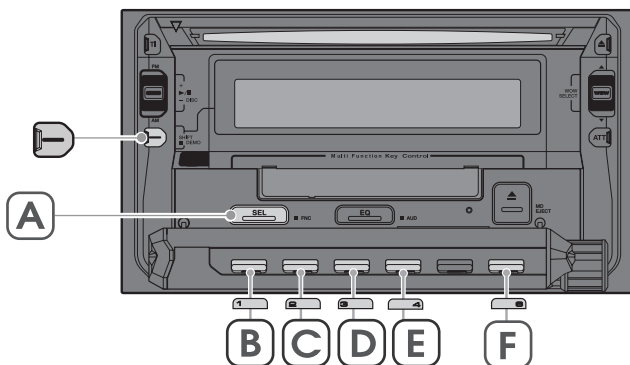
Group Random

押すたびに、グループランダムプレイがオン/オフされます。グループランダムプレイ中は“GRDM”が反転表示されます。



を押すと、次の曲をランダムに選択します。

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード



● スキャンプレイ

ディスクやフォルダ、グループ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

SCAN RDM REP

<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。

1 スキャンプレイを開始します



SCAN



Track Scan

CD/MD時

Scan

MP3/WMA時

File Scan

KSF時

スキャンプレイ中は“SCAN”が反転表示されます。

2 聴きたい曲のところで...



SCAN



その曲からプレイされます。

● すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

● リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク/フォルダ/グループ内の曲を繰り返しプレイします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

SCAN RDM REP

<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。



REP



押すたびに、次のようにオン/オフします。

リピートプレイ中は“REP”が反転表示されます。

MP3/WMAファイル時

グループ登録済みMD時

"File Repeat"
(ファイルリピートオン)

"Repeat"
(トラックリピートオン)

"Folder Repeat"
(フォルダリピートオン)

"Group Repeat"
(グループリピートオン)*

(リピートプレイオフ)

(リピートプレイオフ)

CD/MD時

"Repeat"
(トラックリピートオン)

(リピートプレイオフ)

● *: “Group Repeat” は「ファンクションセット」(46ページ)で“MD Group”項目が“On”のときに選択できます。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(63ページ)をご覧ください。

CD/MDチェンジャー時

"Repeat"
(トラックリピートオン)"Disc Repeat"
(ディスクリピートオン)

(リピートプレイオフ)

HDD EXT時

"File Repeat"
(ファイルリピートオン)"Folder Repeat"
(フォルダリピートオン)

(リピートプレイオフ)

グループセレクト (グループ登録済みMDのみ)

聴きたい曲が入っているグループ名を表示して
グループを選択します。

1 オペレーションパネルを開けます

「EZ Operation」(12ページ)を参照してオペ
レーションパネルを開きます。

2 グループセレクトモードにします



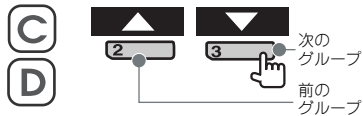
ディスプレイに以下の表示がされて、1グル
ープから表示します。



グループナンバー表示
選択しているグループの番号を
表示します。

グループネーム表示
選択しているグループネームを
表示します。

3 グループを選びます



押すたびに、次のグループ/前のグループへ
と移動します。

グループネームをスクロールするときは…



4 聴きたい曲が入っているグループで…

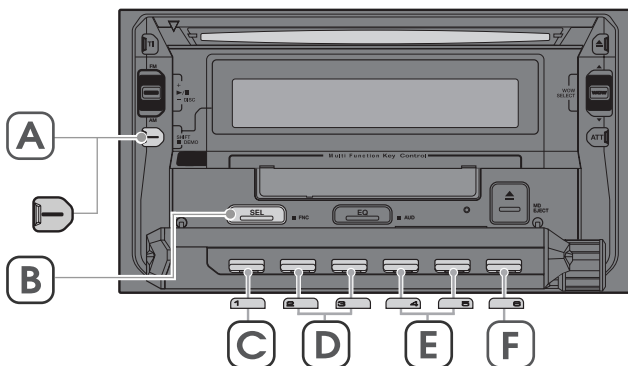


グループセレクトモードが終了し、そのグル
ープ内の最初の曲がプレイされます。

グループセレクトを中止するときは…



CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード



フォルダセレクト (MP3/WMAメディアのみ)

聴きたいMP3/WMA曲が入っているフォルダをすばやく選択します。

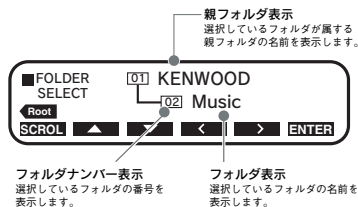
1 オペレーションパネルを開けます

「EZ Operation」(12ページ)を参照してオペレーションパネルを開きます。

2 フォルダセレクトモードにします

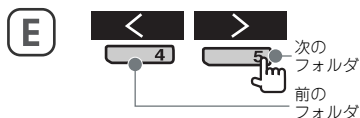


ディスプレイに以下の表示がされます。



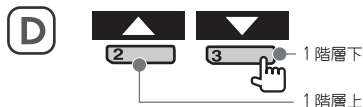
3 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します



押すたびに、同階層内で次のフォルダ/前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します



押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります



最上階層のフォルダに戻ります。

フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3/WMA」(60ページ)を参照してください。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(63ページ)をご覧ください。

4 聴きたい曲が入っているフォルダで…



フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3/WMAファイルがプレイされます。

- フォルダセレクトモードを終了して、選択したフォルダにMP3/WMAファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

フォルダネームをスクロールするときは…



フォルダセレクトを中止するときは…



テキストスクロール

テキスト表示を、スクロール設定が“Manual”のときにスクロールさせます。

1 テキスト表示にします

「ディスプレイ表示切り替え」(34ページ)を参照して、テキスト表示にします。

2 <ソースキーモード>状態にします

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で作動します。

SCROL SCAN RDM REP



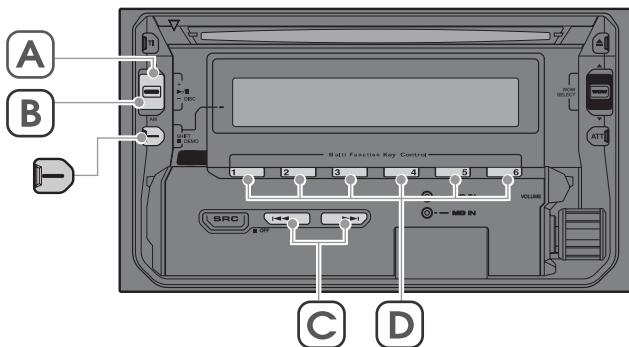
3 スクロール表示します



表示中のテキストが1回スクロールします。

- スクロール可能なテキスト表示については、「Help? Word」の「Scroll」(73ページ)を参照してください。
- スクロール設定を“Auto”にしているときに上記の操作を行うと、テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール設定は、「ファンクションセット」(46ページ)の“Scroll”項目で選択できます。

TUNER モード



● バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



● チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードが“Auto 1”のとき
(AT1インジケーターが点灯しています)
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが“Auto 2”のとき
(AT2インジケーターが点灯しています)
メモリーされている放送局を番号順に受信します。
(メモリーの方法は右記を参照してください)

チューニングモードが“Manual”のとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「ファンクションセット」(46ページ)の“SEEKモード”項目で選択できます。
- SNPSを表示中はインジケーター(AT1、AT2、STなど)は点灯しません。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

FM/AM放送を受信します。

また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」（63ページ）をご覧ください。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で作動します。



<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。

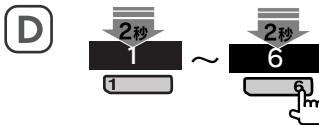
1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます



FM1 76.0MHz 3ch

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で作動します。



<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

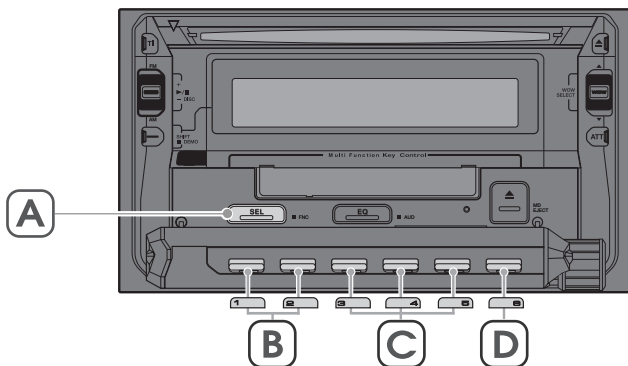
2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



FM1 76.0MHz 3ch

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

TUNER モード



オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

「バンド切り替え」(22ページ)を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION”と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します



オートメモリー
スタート?

4 オートメモリーを開始します



2 秒以上押し続けます。

- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

チューナーリストチューニング

放送局名をリスト表示して、メモリーボタン(1～6)にメモリーされている放送局を受信します。

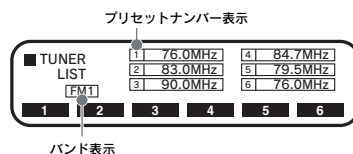
1 オペレーションパネルを開けます

「EZ Operation」(12ページ)を参照してオペレーションパネルを開きます。

2 チューナーリストモードにします



ディスプレイに以下の表示がされます。



バンド表示

中止するときは...



3 バンドを選びます

「バンド切り替え」(22ページ)を参照してバンドを選びます。

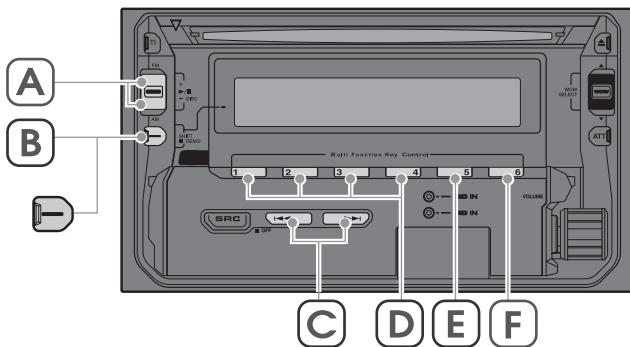
4 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます

B C D



チューナーリストモードが終了して選択した放送局が呼び出されます。

Name Set



DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット) CDやFM/AM放送局に名前を付けます。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

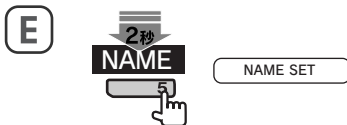
S.A **MOVIE** **PIC.** **DISP** **NAME** **CLOCK**

<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

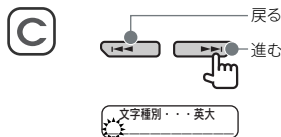
- MDやMP3/WMAのメディアにDNPSを行うことはできません。
- マガジンランダムプレイ中はDNPSは行えません。マガジンランダムプレイ以外を選択しておいてください。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

2 DNPS/SNPSを開始します

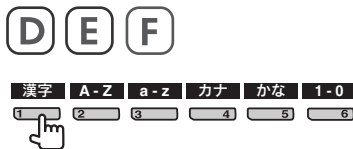


“NAME SET”画面に替わるまで押し続けます。

3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます



入力する文字種のボタンを押します。

漢字 : 漢字 (漢字を選択します)

A-Z : 英大 (英大文字を選択します)

a-z : 英小 (英小文字を選択します)

カナ : カナ (カタカナを選択します)

かな : かな (ひらがなを選択します)

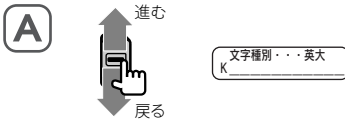
1-0 : 数記 (数字/記号を選択します)

- 漢字の入力方法については、「漢字の入力」(28ページ)をご覧ください。

FM/AM放送局や本機内蔵のプレーヤーと別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。
また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」（63ページ）をご覧ください。

5 文字を選びます



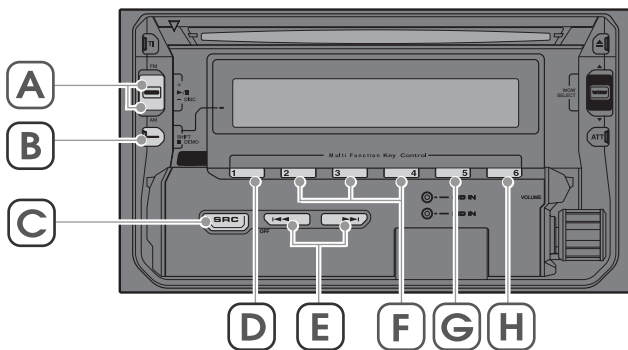
6 3～5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- 名前は12文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局とAM放送局の合計で30局です。
- DNPSは本機内蔵プレーヤーおよび接続している別売品CDチェンジャーの合計で50枚まで登録できます。
- バッテリーから本機を外すとDNPS/SNPSは消去されます。

Name Set



漢字の入力

ディスクネーム/ステーションネームに漢字を入力して表示させることができます。

1 DNPS/SNPSを開始します

「DNPS (ディスクネームプリセット) /SNPS (ステーションネームプリセット)」(26ページ)の手順1～3を行います。

2 漢字入力モードにします

D

漢字



文字種別・・・漢字
い... 漢字

3 漢字の読みを選択します

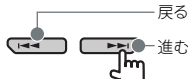
A



文字種別・・・漢字
い... 漢字

4 入力する漢字を選ぶ

E



文字種別・・・漢字
い... 漢字

カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

漢字列を変えるには....

A



文字種別・・・漢字
い... 漢字

カーソルが漢字の位置にあるときに動かすと、漢字列が変わります。

5 漢字を入力する

H



カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。
さらに漢字を入力する場合は、手順2～5を繰り返します。

漢字入力を中止するときは...

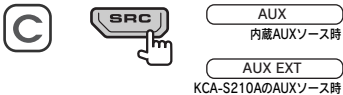
D



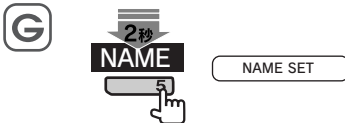
AUXネームセレクト

AUXソースに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします



2 AUXネームセレクトを開始します



“NAME SET”画面に替わるまで押し続けます。

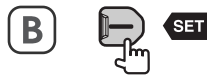
3 AUXネームを選択します



表示したい名前のボタンを押します。

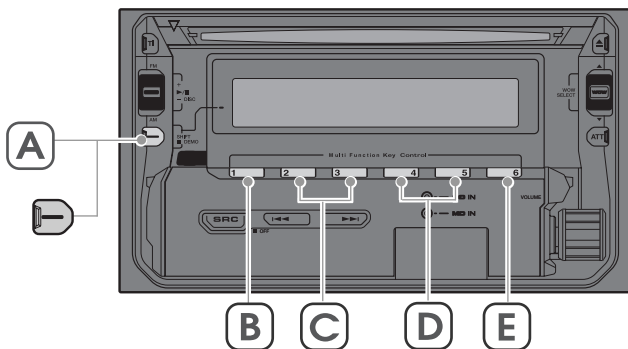
- * **AUX** : AUX (エーユーエックス)
DVD : DVD (ディーバイディー)
PRTBL : PORTABLE (ポータブル)
GAME : GAME (ゲーム)
VIDEO : VIDEO (ビデオ)
TV : TV (テレビ)

4 AUXネームセレクトを終了します



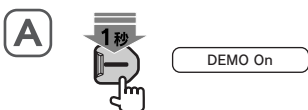
- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- CA-C1AXを使用したAUX入力には「AUXネームセレクト」はできません。
- バッテリーから本機をはずすと、AUXネームは“AUX” / “AUX EXT”に戻ります。
- *: “AUX”はKCA-S210AのAUXソースでは“AUX EXT”と表示されます。
- AUXソース (“AUX”)には「ファンクションセット」(46ページ)の“内部AUX”項目が“On”に設定されているときに切り替わります。

ディスプレイコントロール



● デモンストレーション切り替え

デモンストレーション表示にします。



“DEMO On”と表示されるまで押し続けます。
1秒以上押すたびに、デモンストレーションがオン/オフします。

時計表示切り替え

時計表示をオン/オフします。



押すたびに、時計表示がオン/オフされます。

● 時刻合わせ

時計表示の時刻を合わせます。



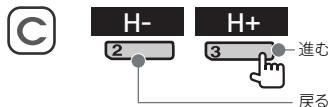
1 時刻合わせを開始します



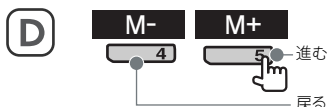
“CLOCK ADJUST”画面に替わるまで押し続けます。

2 時刻を合わせます

“時”を合わせる



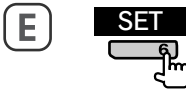
“分”を合わせる



ディスプレイに表示する情報の設定をします。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(63ページ)をご覧ください。

3 時刻合わせを終了します



00秒からカウントがスタートします。

スぺアナ切り替え

グラフィックに表示するスペクトラムアナライザ表示を選択します。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

S.A **MOVIE** **PIC.** **DISP** **NAME** **CLOCK**

<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。

1 スぺアナ選択モードにします



STANDBY中および交通情報受信中は切り替えできません。

2 スぺアナを切り替えます



S.A 1 **S.A 2** **S.A 3** **S.A 4** **S.A 5** **S.A SCN**



表示したい項目のボタンを押します。

S.A 1 : Speana 1 (スぺアナ 1)

S.A 2 : Speana 2 (スぺアナ 2)

S.A 3 : Speana 3 (スぺアナ 3)

S.A 4 : Speana 4 (スぺアナ 4)

S.A 5 : Speana 5 (スぺアナ 5)

S.A SCN : Speana Scan (スぺアナスキャン)

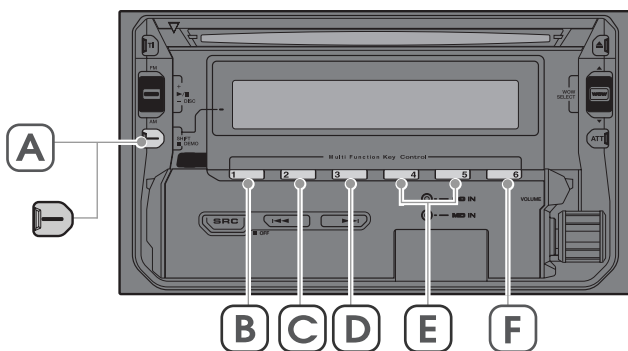


スぺアナスキャンに切り替えると"Speana 1"から"Speana 5"までを次々に表示します。

3 スぺアナ選択モードを終了します



ディスプレイコントロール



動画の選択

グラフィックに表示する動画を選択します。

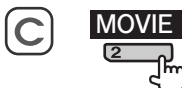
Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

S.A **MOVIE** **PIC.** **DISP** **NAME** **CLOCK**

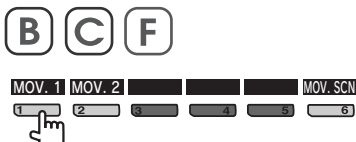
<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。

1 動画選択モードにします



！ 交通情報受信中は切り替えできません。

2 動画を切り替えます



表示したい項目のボタンを押します。

MOV.1 : Movie 1 (動画 1)

MOV.2 : Movie 2 (動画 2)

MOV. SCN : Movie Scan (動画スキャン)

！ 動画スキャンに切り替えると“Movie 1”と“Movie 2”を次々に表示します。

3 動画選択モードを終了します



Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」（63ページ）をご覧ください。

壁紙の選択

グラフィックに表示する壁紙を選択します。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

S.A **MOVIE** **PIC.** **DISP** **NAME** **CLOCK**

<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。

1 壁紙選択モードにします

D

PIC.

3



交通情報受信中は切り替えできません。

2 壁紙を切り替えます

B

~

F

PIC. 1 **PIC. 2** **PIC. 3** **PIC. 4** **PIC. 5** **PIC.SCN**

1

2

3

4

5

6



表示したい項目のボタンを押します。

PIC.1 : Picture 1（壁紙 1）

PIC.2 : Picture 2（壁紙 2）

PIC.3 : Picture 3（壁紙 3）

PIC.4 : Picture 4（壁紙 4）

PIC.5 : Picture 5（壁紙 5）

PIC. SCN : Picture Scan（壁紙スキャン）



壁紙スキャンに切り替えると“Picture 1”から
“Picture 5”までを次々に表示します。

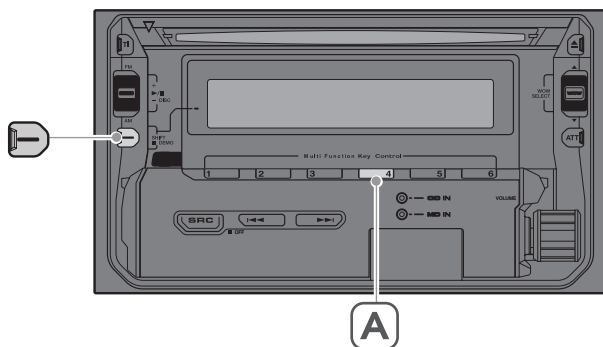
3 壁紙選択モードを終了します

A



RTN

ディスプレイコントロール



ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示する情報を切り替えます。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

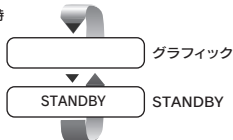
S.A **MOVIE** **PIC.** **DISP** **NAME** **CLOCK**

<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。

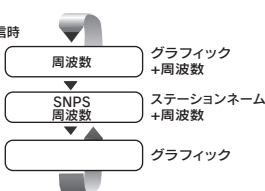


押すたびに次の順に切り替わります。

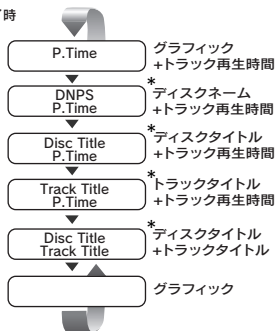
STANDBY時



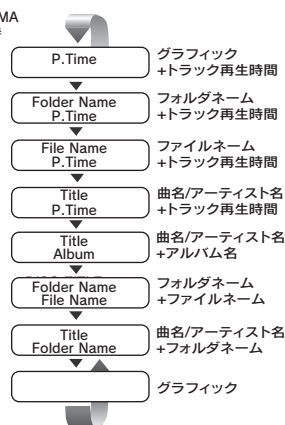
TUNER/
交通情報受信時



CDプレイ時



MP3/WMA
プレイ時

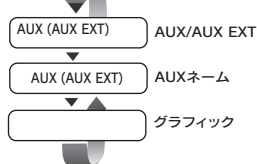


Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(63ページ)をご覧ください。

MDプレイ時

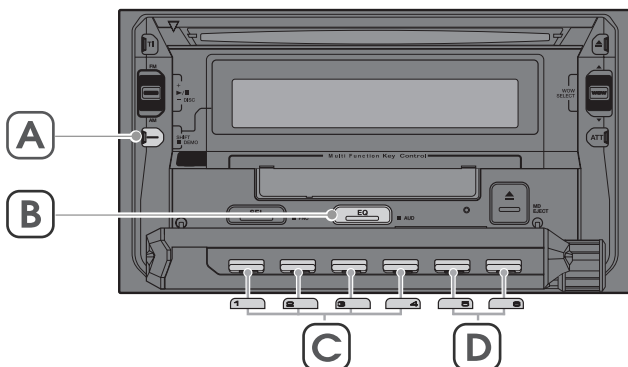


AUX/AUX EXT時



- グラフィックの切り替えかたは、「スベアナ切り替え」(31ページ)、「壁紙の選択」(33ページ)、「動画の選択」(32ページ)をご覧ください。
- CDプレイ時の*の項目は本機内蔵CDとタイトル機能に対応した別売品のユニットでプレイ時のみ選択可能です。
- MDプレイ時の*の項目はグループ登録済みMDをプレイ時のみ選択可能です。
- CA-C1AXに入力したAUXソースでは“AUX Mode”表示とグラフィック表示とが切り替わります。
- WMAファイルをプレイ中は、アルバム名の表示はできません。
- 別売品のLXアンプが接続されている場合は、ソース毎に以下の表示を選択することができます。
STANDBY時 : LX AMP + STANDBY
TUNER/交通情報受信時 : LX AMP + 周波数
CD/MP3/WMA/MDプレイ時 :
LX AMP + トラック再生時間
AUX/AUX EXT時 : LX AMP + AUXネーム

オーディオコントロール



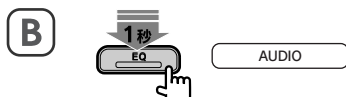
オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

1 オペレーションパネルを開けます

「EZ Operation」(12ページ)を参照してオペレーションパネルを開きます。

2 オーディオコントロールモードにします



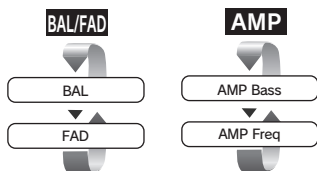
“AUDIO”と表示されるまで押し続けます。

オーディオコントロールはSTANBY以外のモード中に設定できます。

3 設定する項目を選択します



設定する項目が表示されていないときは、以下のように設定する項目を表示させます。“BAL/FAD”、“AMP”、“LPF”項目は押すたびに以下のように切り替わります。



LPF



LPF

SW LEVEL

設定する項目を表示します



押すたびに以下のように切り替わります。

1ページ



2ページ



4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

1 ページ

項目	表示	設定値
BAL/FAD	BAL (左右の音量調整)	L15 ~ 00 ~ R15
	FAD (前後の音量調整)	F15 ~ 00 ~ R15
AMP	AMP Bass* (外部アンプのバス調整)	Flat/+6/+12 /+18 (dB)
	AMP Freq* (外部アンプの周波数調整)	Normal/Low
HPF	HPF* (ハイパスフィルター)	THRU/100/125 /170 (Hz)
LPF	LPF* (ローパスフィルター)	THRU/120/80 /50 (Hz)
	SW LEVEL (サブウーファの音量調整)	-15 ~ 00 ~ +15

(太字は初期設定値)

2 ページ

項目	表示	設定値
VOL.OFF	VOLUME OFFSET* (音量レベル差調整)	-08 ~ 00 (dB)
NAV・Vol	NAV VOL* (ナビ割り込み音声の 音量調整)	00 ~ 15 ~ 25

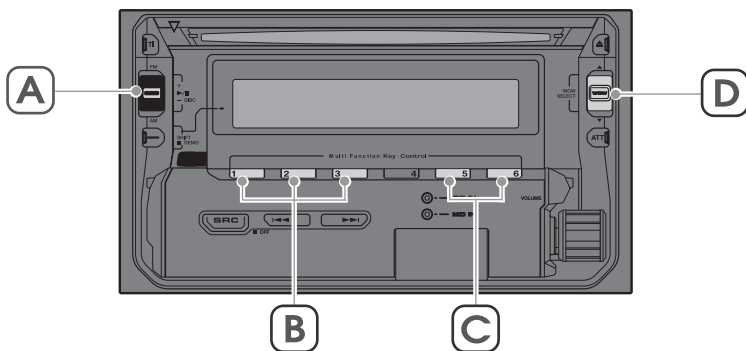
(太字は初期設定値)

- * マークが付いた項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(71ページ)を参照してください。
- “AMP Bass”と“AMP Freq”で本機からコントロール可能なアンプの機種についてはカタログをご覧ください。
- “LPF”および“SW LEVEL”は「サブウーファ出力設定」(39ページ)がオンで「ファンクションセット」(46ページ)の“Preout”項目が“SW”のときに調整できます。
- “NAV VOL”は「ファンクションセット」(46ページ)の“ナビガイド”項目が“INT”のときに調整できます。

4 オーディオコントロールモードを終了します



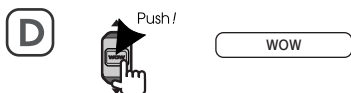
オーディオコントロール



WOWコントロール

低音、音場および音像の設定します。

1 WOWコントロールモードにします



2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

項目	表示	設定値
SRS	SRS 3D (音場の立体設定)	On/Off
FOCUS	FOCUS (音像移動の設定)	Low/High/Off
TruBass	TruBass (低音部の強調設定)	On/Off

- 各設定の詳しい機能説明については、「Help? Word」の「SRS WOW」(72ページ)をご覧ください。
- “SRS 3D” は、Tunerモード中または交通情報を受信中は設定できません。
- 各設定項目の値は「WOW設定」(39ページ)で設定した値に置き換えられます。

4 WOWコントロールモードを終了します



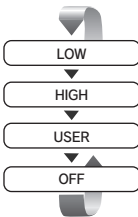
WOW設定

SRS WOWの設定を呼び出します。

D



押すたびに次の順で切り替わります。



- SRS WOWの詳しい機能説明については、「Help? Word」の「SRS WOW」(72ページ)をご覧ください。
- 各設定は「WOWコントロール」(38ページ)の“FOCUS”、“TruBass”および“SRS 3D”の値を一括して設定します。設定値は以下のようになります。

SRS WOW	FOCUS	TruBass	SRS 3D
LOW	Low	On	On
HIGH	High	On	On
USER	「WOWコントロール」(38ページ)で設定した値を呼び出します。		
OFF	Off	Off	Off

サブウーファー出力設定

サブウーファー出力のオン/オフを切り替えます。

A



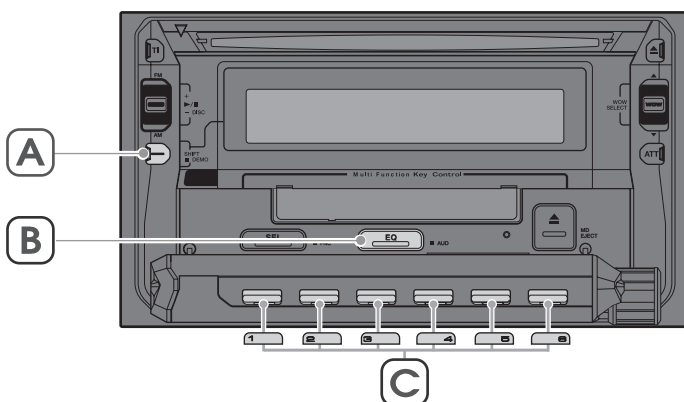
SW On

1秒以上下側に動かすと、サブウーファー出力がオン/オフします。



サブウーファー出力の設定は「ファンクションセット」(46ページ)の“Preout”項目が“SW”に設定されているときに選択できます。

イコライザーコントロール



イコライザーカーブの呼び出し

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。

1 オペレーションパネルを開けます

「EZ Operation」(12ページ)を参照してオペレーションパネルを開きます。

2 イコライザーモードにします



3 イコライザーカーブを選択します



選択したい項目が表示されていないときは、次のように選択したい項目を表示させます。

1 ページ

NATU. : NATU. (ナチュラル)

ROCK : ROCK (ロック)

DANCE : DANCE (ダンス)

JAZZ : JAZZ (ジャズ)

POPS : POPS (ポップス)

HEAVY : HEAVY (ヘビィ)

2 ページ

SOFT : SOFT (ソフト)

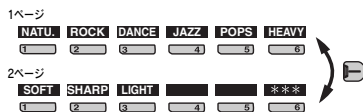
SHARP : SHARP (シャープ)

LIGHT : LIGHT (ライト)

選択する項目を表示します



押すたびに以下のように切り替わります。



「***」は、「ファンクションセット」(46ページ)の「EQモード」項目が「Easy」に設定されているときは「MEMO」、「PRO」に設定されているときは「USER」が表示されます。「MEMO」は「イコライザープロの調節」(42ページ)で調節した音質を呼び出すことができ(45ページ)、「USER」は「イコライザープロの調節」(42ページ)で調節した音質をメモリーしたり呼び出したりすることができます。(44ページ)

4 イコライザーモードを終了します



イコライザーカーブは「イコライザーイージーの調節」(41ページ)や「イコライザープロの調節」(42ページ)で調整することができます。

イコライザーカーブの設定や調節をします。

ファンクションセットの“EQモード”項目が“Easy”に設定されているときは、音質に強弱をつけることができ、“PRO”に設定されているときは、イコライザーカーブを調整することができます。

イコライザーイーजीの調節

ジャンル別に設定された音質を呼び出して、その効果の強弱を設定します。

！ イコライザーイーजीの調節は、「ファンクションセット」(46ページ)の“EQモード”項目が“Easy”に設定されている場合に行えます。

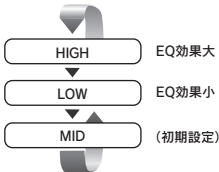
1 イコライザーカーブを選択します

「イコライザーカーブの呼び出し」(40ページ)の手順1～3を参照してイコライザーカーブを選択します。

2 イコライザーの音質効果を調節します



手順1で選択したイコライザーカーブのボタンを押します。
押すたびに次の順で切り替わります。

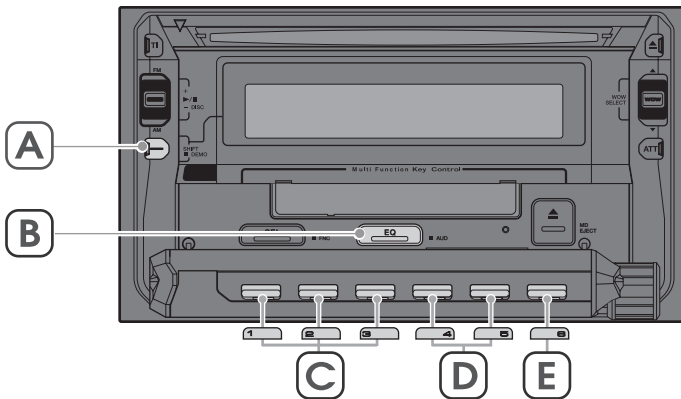


！ イコライザーカーブが“NATU.”の場合、音質効果の調節はできません。

5 イコライザーモードを終了します



イコライザーコントロール



イコライザープロの調節

ジャンル別に設定された音質を好みの音質に調節します。

❗ イコライザープロの調節は、「ファンクションセット」(46ページ)の“EQモード”項目が“PRO”に設定されている場合に行えます。

1 イコライザーカーブを選択します

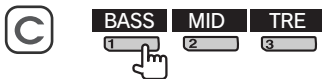
「イコライザーカーブの呼び出し」(40ページ)の手順1～3を参照してイコライザーカーブを選択します。

2 ユーザー調節モードにします



❗ “USER”項目が表示されていない場合は、 を押してください。

3 音質効果の設定項目を選択します

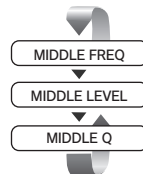


“BASS”、“MID”、“TRE”項目は押すたびに次のように切り替わります。

BASS



MID



TRE



3 音質効果の値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

項目	表示	設定値
BASS	BASS FREQ* (低音中心周波数)	60/70/80/100 または150 (Hz)
	BASS LEVEL (低音レベル)	-08 ~ +08
	BASS Q* (低音クオリティファクター)	1.00/1.25/1.50 /2.00
	BASS EXT* (低音中心周波数伸張)	On/Off
MID	MIDDLE FREQ* (中低音中心周波数)	0.5/1.0/1.5/2.0 (kHz)
	MIDDLE LEVEL (中低音レベル)	-08 ~ +08
	MIDDLE Q* (中低音クオリティファクター)	1.00/2.00
TRE	TREBLE FREQ* (高音中心周波数)	10.0/12.5/15.0 /17.5 (kHz)
	TREBLE LEVEL (高低音レベル)	-08 ~ +08

4 ユーザー調節モードを終了します

A



RTN

5 イコライザーモードを終了します

B

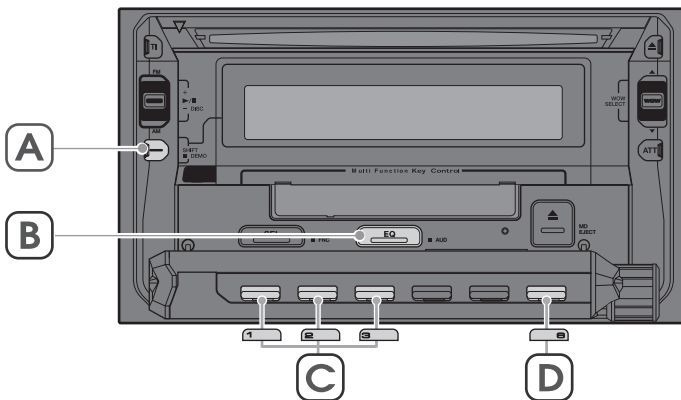


EQ

- *マークが付いた項目の詳細機能については、「Help ?Word」のイコライザーコントロール (72ページ) をご覧ください。
- 手順 2 ~ 4 で設定した値はメモリーしたり呼び出ししたりすることができます (44ページ)。
- BASS Q (低音クオリティファクター) の設定値により、BASS FREQ (低音中心周波数) の設定可能な周波数が以下のように変わります。

BASS Q設定値	BASS FREQ 設定可能値
1.00/1.25/1.50	60/70/80/100 (Hz)
2.00	60/70/80/150 (Hz)

イコライザーコントロール



イコライザープロメモリと呼び出し（“PRO”モード中）

イコライザープロの設定を3種類までメモリーしておくことができます。

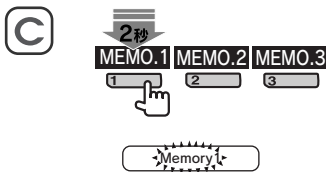
1 イコライザーカーブを設定します

「イコライザープロの調節」（42ページ）を参照して手順1～手順3を行います。

2 メモリーモードにします

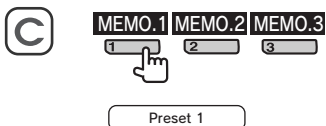


3 メモリーするボタン（1～3のいずれか）を選びます



“Memory ○”と表示されるまで押し続けます。

イコライザープロメモリーを呼び出す時は…



4 メモリーモードを終了します



5 ユーザー調節モードを終了します



6 イコライザーモードを終了します



イコライザープロメモリーの呼び出し (“Easy” モード中)

“Easy” モード中でもイコライザープロメモリーでメモリーした音質を呼び出すことができます。

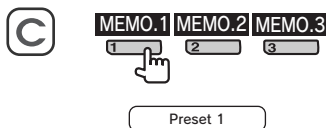
1 イコライザーカーブを選択します

「イコライザーカーブの呼び出し」(40ページ)の手順1～3を参照して“MEMO”を表示します。

2 メモリー呼び出しモードにします



3 メモリーナンバーを選択します



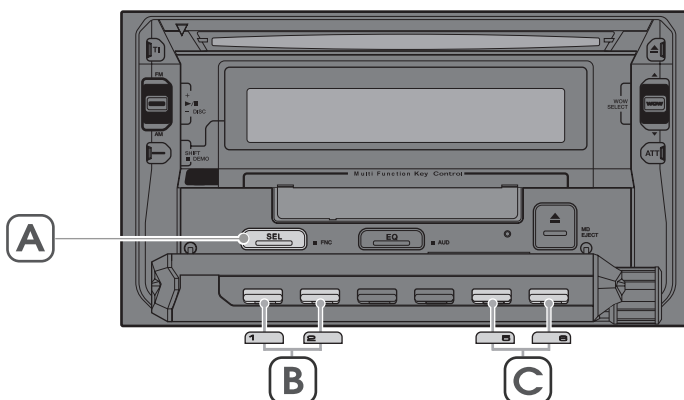
4 メモリー呼び出しモードを終了します



5 イコライザーモードを終了します



Function



ファンクションセット

操作時のピープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定したい項目があるソースにします

「ソース選択」(14ページ)を参照して設定したい項目のあるソースを選択します。

2 オペレーションパネルを開けます

「EZ Operation」(12ページ)を参照してオペレーションパネルを開きます。

3 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION”と表示されるまで押し続けます。

4 設定項目を選択します



5 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

MD/CD/MP3/WMA/Changerモード中の設定項目

設定項目	設定値
Scroll* (テキスト表示のスクロール設定)	Auto/Manual

(太字は初期設定値)

- MDプレイ時とCD/MP3/WMA/Changerプレイ時のそれぞれで設定が可能です。
- 別売品のユニット(チェンジャーなど)では、テキスト機能に対応していないと設定できません。

TUNERモード中の設定項目

設定項目	設定値
SEEKモード* (チューニングモード設定)	Auto 1/ Auto 2/Manual
オートメモリー スタート?	設定の方法は24ページをご覧ください。
MONO設定* (FM放送モノラル受信設定)	On/Off

(太字は初期設定値)

- “MONO設定”項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。
- FM放送モノラルチューニングをオンにしているときはMONOインジケータが点灯します。

LXアンプ接続時のみ

設定項目	設定値
AMP CTRL (LXアンプコントロールの設定)	設定の方法は50ページをご覧ください。

本機のいろいろな機能を設定します。

STANDBY中の設定項目

設定項目	設定値
Beep*(ビープ音設定)	On/Off
CD Read* (CDの読み込み設定)	1/2
S.I.機能* (盗難防止用警告ランプ設定)	On/Off
内蔵AMP* (内蔵アンプの出力設定)	On/Off
内部AUX* (AUXソースの切り替え設定)	On/Off
ナビガイド* (ナビ音声ガイド時の設定)	Off/ATT/INT
セキュリティ登録* (セキュリティコードの登録)	登録の方法は48ページをご覧ください。
オープニング表示* (電源オン時のデモンストレーション)	On/Off
CD漢字優先表示* (CDタイトルの漢字の優先表示)	On/Off
MD漢字優先表示* (MDタイトルの漢字の優先表示)	On/Off
MD Group* (MDグループ管理機能設定)	On/Off
EQモード* (イコライザーの調節設定)	Easy/PRO
Preout* (プリアウト出力設定)	Rear/SW

(太字は初期設定値)

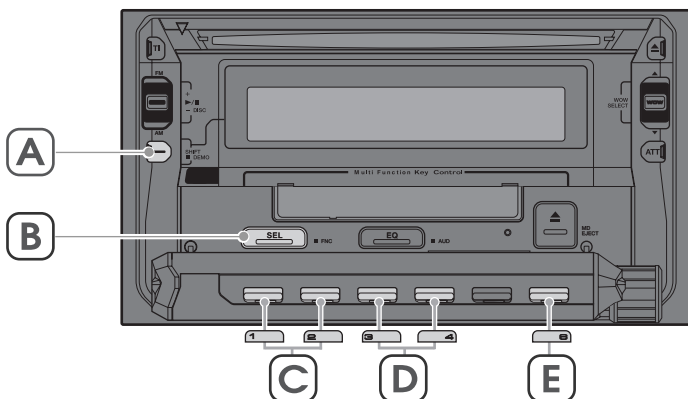
- AUXソースを使用しないときは“内部AUX”項目を“Off”に設定してください。“On”のまま使用すると雑音が出ることがあります。
- STANDBY中は、ナビ音声ガイドの割り込みはできません。
- “ナビガイド”項目を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドが割り込んだときに、ナビゲーションシステムでKSFを再生していると、ナビゲーションによってはKSFの音声がナビ音声ガイドと一緒に聴こえる場合があります。

6 ファンクションセットモードを終了します



- * マークが付いた項目の詳しい機能説明は「Help? Word」のFunction (73ページ)を参照してください。

Function



セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 STANDBYモードにします

「ソース選択」(14ページ)を参照し「STANDBY」モードを選択します。

2 オペレーションパネルを開けます

「EZ Operation」(12ページ)を参照してオペレーションパネルを開きます。

3 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION”と表示されるまで押し続けます。

4 セキュリティコード項目を選択します



セキュリティ登録

5 セキュリティコード入力を開始します



“CODE SECURITY”と表示されるまで押し続けます。

6 セキュリティコードを入力します



例：3510の場合

ボタン	1	2	3	4
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

7 セキュリティコードを登録します



8 セキュリティコードを再入力します

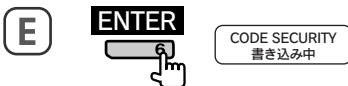


確認のためセキュリティコードを手順6の方法で再度入力します。

コード入力を中止するには…



9 セキュリティコードを確認登録します



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは右記をご覧ください。

手順6と違うコードを入力すると、手順6の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します

セキュリティコードを手順6の方法で入力します。

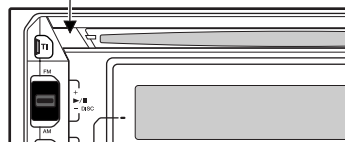
2 セキュリティコードを確認します



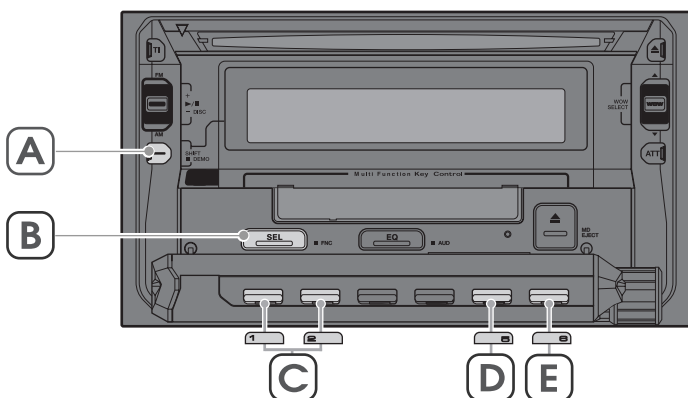
本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると、“CODE INPUT NG!”と表示した後、電源が自動的にオフになります。このようなときは、**ENTER** (SRC) を押して電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。
- 本機はセキュリティコード機能の他にS.I. (セキュリティインジケター) 機能を採用しています。「ファンクションセット」(46ページ) の“S.I.機能”項目を“On”にしておくと、ACCをオフにしたときにLEDが点滅し、盗難防止ランプの代用として使用できます。

S.I. (セキュリティインジケター)



Function



LXアンプコントロール

別売品のLXアンプが接続されているときに、本機からコントロールすることができます。

1 オペレーションパネルを開けます

「EZ Operation」(12ページ)を参照してオペレーションパネルを開きます。

2 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION”と表示されるまで押し続けます。

3 アンプコントロールモードを選択します



AMP CTRL

4 アンプコントロールモードにします



“AMP CONTROL”と表示されるまで押し続けます。

5 調整するアンプコントロール項目を選択します



アンプコントロール項目の詳細については、LXアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

6 アンプコントロール項目を調整します



7 アンプコントロールモードを終了します

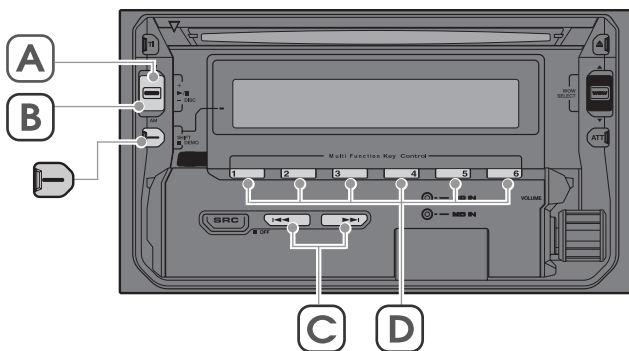


8 ファンクションセットモードを終了します



LXアンプはSTANDBY中は操作できません。

TVコントロール



● チャンネル選択

受信するTV放送を選びます。



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。
詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

バンド／ビデオ切り替え

TVのバンドとビデオ入力を切り替えます。



押すたびにTVバンドとビデオ入力切り替わります。

● プリセットコール

TVのプリセットチャンネルにメモリーされているチャンネルを選びます。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で作動します。



<ソースキーモード>が表示していない場合は、を押します。

1 バンドを選択します



2 メモリーボタン (1～6のいずれか) を選びます



TV1 1ch P3

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされているチャンネルが呼び出されます。

別売品のLX-BUS 対応のナビゲーション “HDX-710” などが接続されているときに、本機からTVのコントロールをすることもできます。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」（63ページ）をご覧ください。


● マニュアルメモリー

受信中のTV放送局をメモリーします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で作動します。

1 2 3 4 5 6

<ソースキーモード>が表示していない場合は、 を押します。

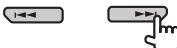
1 バンドを選択します

A



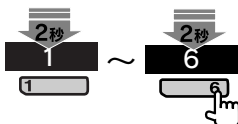
2 メモリーする放送局を選択します

C



3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます

D



TV1 1ch 13.3

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

● 音声多重切り替え

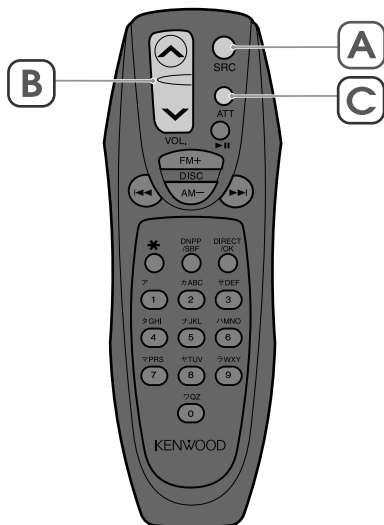
音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。

B



リモートコントロール

各モード共通



ソース切り替え

A



プレイするソースを切り替えます。

音量調節

B



音量を調節します。

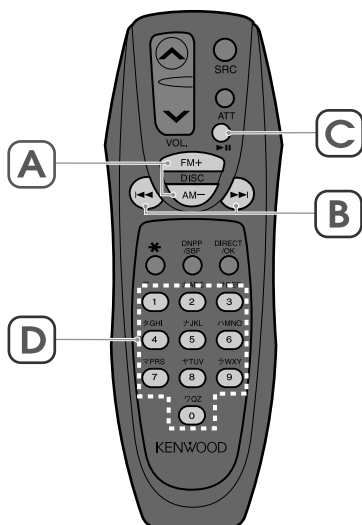
アッテネーター

C



ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

CD/MD/MP3/WMA/ Changer/KSF モード



ディスクサーチ/フォルダサーチ/グループサーチ

ディスクサーチ：ディスクチェンジャーのみ

A



プレイするディスク/フォルダ/グループを選択します。

また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ/ファイルサーチ

B



プレイする曲/ファイルを選択します。

また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ

C

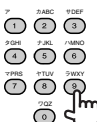


プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。

テンキー

D



テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。

MP3/WMAファイルをプレイ時はテンキーに続けてファイルサーチキーを押すとプレイ中のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。

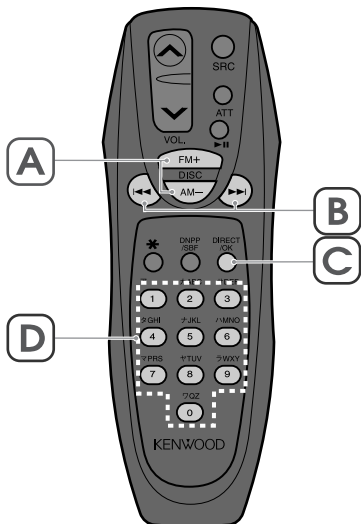
グループ管理機能を使ってMDをプレイ中はテンキーに続けてトラックサーチを押すと、プレイ中のグループ内のトラックをダイレクトサーチできます。



KSFをプレイ時は、ダイレクトサーチできません。

リモートコントロール

TUNER モード



バンド切り替え

A



受信するバンドを切り替えます。

選曲

B



受信する放送局を切り替えます。

ダイレクトチューニング

C



このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

例：76.1MHz(FM)の場合（3桁）

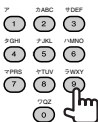
(7) (6) (1)

例：0522kHz(AM)の場合（4桁）

(0) (5) (2) (2)

テンキー

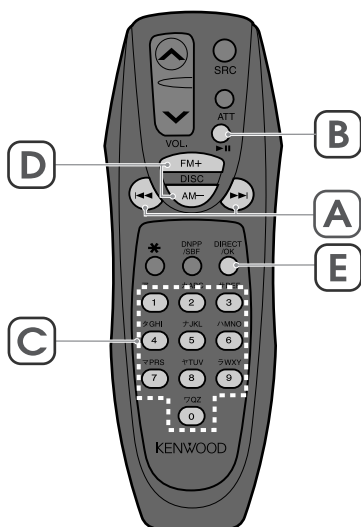
D



メモリーされている放送局の番号を選択します。(① ~ ⑥)

ダイレクトサーチキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

DNPS (ディスクネームプリセット) / **SNPS** (ステーションネームプリセット)



カーソル

A

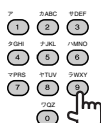

カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え

B


入力する文字の種類（英大文字/英小文字/数字・記号/かな/カタカナ）を切り替えます。

テンキー

C


文字を入力します。
 例：「コ」を入力する場合
 （カタカナ）
 ② (9回押す)
 例：「h」を入力する場合
 （英小文字）
 ④ (2回押す)

文字選択

D


文字を順に切り替えます。

終了

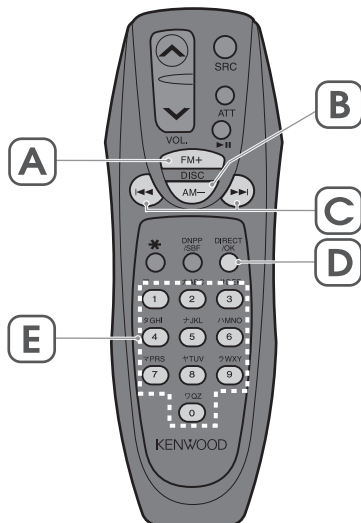
E


登録が完了します。

● SNPS/DNPSを開始するには、本体の **NAME** を2秒以上押します。詳しい操作方法は26ページを参照してください。

リモートコントロール

● TV モード



バンド／ビデオ切り替え

A



受信するTVバンドの放送局とビデオ入力を切り替えます。

音声多重切り替え

B



メイン音声／サブ音声を切り替えます。

チャンネル選択

C



受信するチャンネルを選択します。

ダイレクトチャンネルセレクト

D



このボタンに続けて、チャンネルをテンキーで指定します。

例：1chの場合

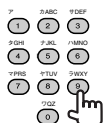
(0) (1)

例：10chの場合

(1) (0)

テンキー

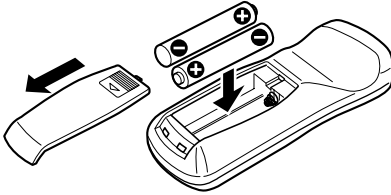
E



メモリーされている放送局の番号を選択します。(01 ~ 99)

電池の入れかた

付属の電池（単三形 2 本）を＋／－の向きを正しく合わせて入れてください。



操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2 個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。



注意

- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
 - 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。
- また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

Help ? MP3/WMA

本機はMP3/WMAファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。また、以下は本機に表示できる制限を記載しています。

以下に記載されている制限文字数はいずれも1 byte文字を使用した場合の文字数です。

使用できるメディア

使用できるMP3/WMAを収録するためのメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1 Audio Layer 3、MPEG 2 Audio LSP Layer 3 規格のもの です。

- サンプルング周波数
: 8,11.025,12,16,22.05,24,32,44.1,48 (kHz)
- ビットレート : 8 ~ 320 (kbps)

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのものです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプルング周波数 : 44.1, 48, 32 (kHz)
- ビットレート : 48 ~ 192 (kbps)

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。

詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL:http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html

また、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1 : 12文字
- ISO 9660 Level 2 : 31文字
- Joliet : 64文字
- Romeo : 128文字

なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、170文字まで表示が可能です。

使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数 : 255
- 最大フォルダ数 : 50
- 最大フォルダ名 : 64文字

前記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3/WMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字、カナ文字または日本語で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、MP3/WMAファイルと認識されてプレイされるファイルは、“MP3”または“WMA”の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“MP3”または“WMA”拡張子を付けて保存してください。



禁止

MP3/WMA以外のファイルに、“MP3”または“WMA”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

MP3/WMA以外のファイルに、“MP3”または“WMA”拡張子を付けないようにしてください。

ID3/WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数字、カタカナ、日本語（シフトJIS）です。

ID3 Tagで表示できるのは、曲名、アーティスト名およびアルバム名の30文字までです。

また、WMA Tagで表示できるのは、曲名およびアーティスト名の30文字までです。

メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。

また、次のMP3/WMAファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

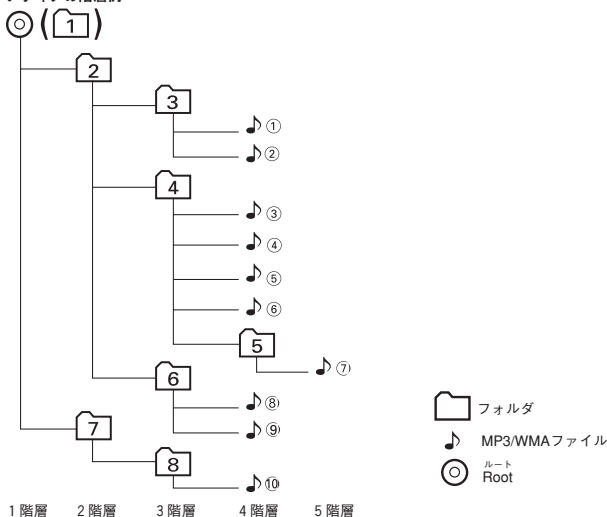
MP3/WMAファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例



♪④ 再生中にファイルサーチを行うと…

押すボタン		
プレイ中の ファイルNo.		
♪④	♪④の最初 ➡ ♪③	♪⑤ ➡ ♪⑥

♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと…

押すボタン		
現在の フォルダNo.	AM	FM
4	3 ➡ 2 ➡ 1 ➡ 8 ...	5 ➡ 6 ➡ 7 ➡ 8 ➡ 1 ...

♪④ 再生中にフォルダセレクトを行うと…


ボタン操作	<	>	▲	▼
現在の フォルダNo.	4	5	2	3
4	3	6	2	5

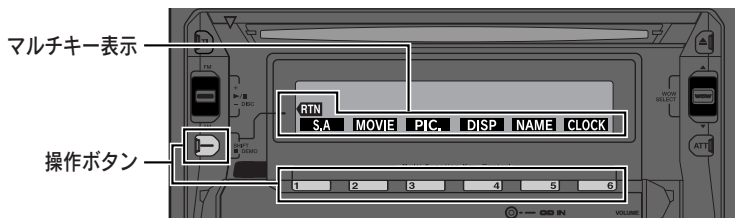
音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権利権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

Help ? Multi Key

マルチファンクションキーコントロールとは、6個のボタンに割りあてられる機能が操作モードごとに切り替わるシステムです。

通常の音楽を聴いている状態では、ソースキーモードとディスプレイキーモードがあります。

本書では、**Before CHECK** <ソースキーモード>または**Before CHECK** <ディスプレイキーモード>と表記している機能は、 ボタンを押して対応のキーモードにしてから操作をすることを表しています。




ディスプレイキーモード中の機能

ディスプレイコントロール (30～35ページ) とName Set (26～29ページ) の機能を使うことができます。

ソースキーモード中の機能

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFプレイ (16～21ページ)、TUNERモード (22～25ページ) およびTVモード (52～53ページ) など、音楽ソースの機能を使うことができます。

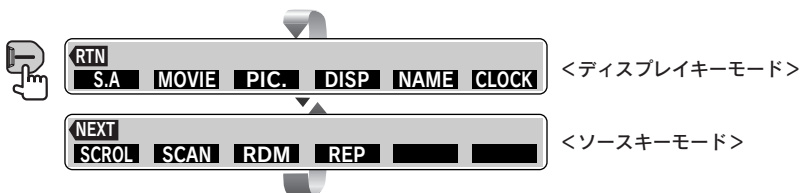


AUX中や交通情報受信中などモードが切り替わらないときは、 ボタンのマルチキー表示は表示されません。

ソースキーモードの操作例

MDをプレイ中にスキャンプレイをするときは…

1. <ソースキーモード>にします

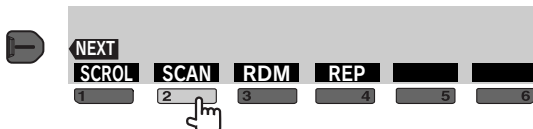


マルチキー表示を<ソースキーモード>にします。



<ソースキーモード>になっている場合は、手順2へ進みます。

2. スキャンプレイをオン/オフします



マルチキー表示内の“SCAN”表示 (スキャンプレイの操作ボタンであることを表しています) の下のボタンを押します。

押すたびにスキャンプレイがオン/オフします。



詳しいスキャンプレイの操作方法については「スキャンプレイ」(18ページ) を参照してください。

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- スピーカーケーブルがシャーシなどに接触している。

- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(78ページ)を参照して正しく接続し直してください。
- スピーカーケーブルを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。

音が出ない/音が小さい

- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 「ファンクションセット」の“内蔵AMP”項目が“Off”に設定されている。
- 入出力ケーブルなどの接続が間違っている。

- フェダーやバランスを正しく調整してください。(36ページ)
- 「ファンクションセット」(46ページ)の“内蔵AMP”項目を“On”に設定してください。
- 「接続」(78ページ)を見て正しく接続し直してください。

操作スイッチを押しても動作しない

内蔵のマイコンが誤動作している。

リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。

- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(78ページ)を参照して正しく接続し直してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。

- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(78ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

設定中のモードが解除された

設定中にオペレーションパネルの開け閉めを行った。

設定中にオペレーションパネルの開け閉めを行うと、現在設定中のモードを強制終了することがあります。

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFプレイ

SRCボタンを押してもディスクがプレイできない

ディスクが入っていない。

プレイするディスクを入れてください。

ディスクが入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で音が切れる

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30°以下になるように取り付け直ししてください。
- しっかりと取り付け直ししてください。なお、駐停車中에서도音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CD/MP3/WMAをプレイできない

- CD/MP3/WMAが裏返しである。
- CD/MP3/WMAが異常に汚れている。
- 結露している。
- CD/MP3/WMAが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「MDとCDの取り扱い」(10ページ)を見て、CD/MP3/WMAをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(9ページ)
- リセットボタンを押してCD/MP3/WMAを取り出しから、再度CD/MP3/WMAを挿入してください。(8ページ)

MDをプレイできない

結露している。

しばらく放置してから使用してください。(9ページ)

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(16ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートプレイがオンになっている。

トラックリピートプレイをオフにしてください。(18ページ)

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(18ページ)

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFプレイ

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(18ページ)

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(16ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。

スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名/アーティスト名、アルバム名、ファイルネーム、およびグループタイトルです。

STANDBYにするとCD/MP3/WMAがディスクの先頭へ戻る

「ファンクションセット」の“CD漢字優先表示”、“CD Read”項目を変更した。

“CD漢字優先表示”、“CD Read”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。(46ページ)

STANDBYにするとMDが1曲目の演奏に戻る

「ファンクションセット」の“MD漢字優先表示”項目を変更した。

“MD漢字優先表示”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。(46ページ)

CD-R、CD-RWがプレイできない

●ファイナライズ処理を行っていない。

●CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

●CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

●CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

ダイレクトディスクサーチができない

ディスクが1枚しか入っていない。

マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

マガジンランダムプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。

マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

トラックサーチできない

チェンジャー内のディスクをプレイ中に最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

CDテキストが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで、O-Nスイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”を“O”にしている。

- 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーに“O-Nスイッチ”が付いている場合は、“O-Nスイッチ”を“N”にしてください。

MP3/WMA

MP3/WMAファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- MP3/WMAファイルに拡張子が付いてない。
- 「ファンクションセット」の“CD Read”項目を“2”に設定している。
- ディスクに傷や汚れがある。
- MP3/WMAファイル本機で再生できる記録方式で記録されていない。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo（60ページ）に準拠したディスクを使用してください。
- MP3ファイルには“MP3”、WMAファイルには“WMA”を付けてください。
- 「ファンクションセット」（46ページ）の“CD Read”を“1”に設定してください。
- 「CDとMDの取り扱い」（10ページ）を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- 「Help? MP3/WMA」（60ページ）を見て、本機で再生できる方式で記録しなおしてください。

MP3/WMAファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「CDとMDの取り扱い」（10ページ）を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMA

MP3/WMAファイルをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

MP3/WMA ファイル以外のファイルに
“MP3” / “WMA” 拡張子が付いている。

MP3/WMAファイル以外のファイルに付いている “MP3” /
“WMA” 拡張子を消去してください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準
拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用
して記録した。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo（60ページ）に準
拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる
文字で記録してください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3/WMAファイルの記録された状況によ
り、演奏時間が一致しないことがあります。

—

MP3/WMAファイルをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイ
ル/階層が多い。

最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするた
め、多くのファイルが記録されているメディアを使用する
と、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3/WMAファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティング
ソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭
に “00” ～ “99” などと入力してから書き込むことで順番
を設定できる場合もあります。

ID3 Tag情報が正しく表示されない

ID3 tagがv1.xに準拠して記録されていない。

ID3 tagをv1.xに準拠して記録してください。

CD-RWに記録したMP3/WMAファイルがプレイされない

CD-RWのフォーマットを簡易フォーマット
で行ったため。

CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行
ってください。

ファイルサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へフ
ァイルサーチしようとしている。

フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、
最後の曲から最初の曲へはファイルサーチできません。

MD Group

MDグループ機能が働かない

「ファンクションセット」の“MD Group”項目を“Off”に設定しているため、ディスクタイトルとグループタイトルとがすべて表示されている。

「ファンクションセット」(46ページ)の“MD Group”項目を“On”に設定してください。

グループ登録済みMDが登録した順番どおりにプレイされない

- グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。
- グループタイトルに“/”が付いている。

- グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録しなおしてください。
- グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“/”は付けしないでください。

ディスクタイトルが正しく表示されない

「ファンクションセット」の“MD Group”項目を“Off”に設定している。

“MD Group”項目を“Off”に設定時はグループ情報が表示されます。

ディスクタイトルが表示できない

ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されている。

ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されているMDでは、ディスクタイトルが表示できないことがあります。グループ機能を搭載した編集機などでディスクタイトルを登録し直してください。

聴きたい曲が選択できない

グループに登録されていない。

聴きたい曲を何らかのグループに登録するか、「ファンクションセット」(46ページ)の“MD Group”項目を“Off”に設定してください。

MDのプレイが1曲目に戻る

「ファンクションセット」の“MD Group”項目の設定を行った。

MDをプレイ中に「ファンクションセット」(46ページ)の“MD Group”の設定を行うとMDのプレイが1曲目に戻ります。

Name Set

DNPSができない

- MDをプレイしている。
- マガジンランダムプレイがオンになっている。
- MP3/WMAファイルをプレイしている。
- MDにDNPSはできません。
- マガジンランダムプレイをオフにしてください。
- MP3/WMAが収録されたメディアにDNPSはできません。

登録したはずのステーションネームが消えた

- 31局目のステーションネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるステーションネームは30局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

- 51枚目のディスクネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCDチェンジャーを合わせて50枚分です。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

登録したはずのAUXネームが“AUX” / “AUX EXT” に戻る

- 本機をバッテリーから外したため。
- 本機をバッテリーから外すとAUXネームは“AUX” / “AUX EXT”に戻ります。

ディスクネームがまちがって表示される

- 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。
- 識別する方法はありません。

“No Disc” と表示される

- マガジンにディスクが入っていない。
- ディスクを入れてください。

Function

セキュリティコード項目が表示されない

- すでにセキュリティコードを設定してある。
- セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

- セキュリティコードを調べることはできません。
- ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

共通

LX BUS TVモニター

(エルエックスバステレビモニター)

外部接続された別売品のTVモニター (f-LZ77など) やナビゲーションシステム (HDX-710など) です。

MDLP

(エムディーエルピー)

MDの記録方式の規格です。本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

MP3

(エムピイスリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」(60ページ)をご覧ください。

WMA

(Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」(60ページ)をご覧ください。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー (KDC-C520, KDC-C510, KDC-C406など)、マルチメディアプレーヤー (VD-C77) です。

オーディオコントロール

AMP Bass

(アンプバスコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。

変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

AMP Freq

(アンプフリケンシー)

「AMP Bass」で設定した低音増幅の中心周波数を調整する機能です。

“Low”に設定すると、周波数が20～30%低くなります。

詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

HPF

(ハイパスフィルター)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF

(ローパスフィルター)

サブウーファー出力から高音を削除することができます。サブウーファー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

NAV VOL

(ナビボリューム)

ナビ音声案内時のナビ音声案内の音量を設定することができる機能です。

オーディオコントロール

SRS WOW

本機では、米国SRS社のWOW回路により、サウンドに大迫力の重低音を付加したり、立体的な音場にして再生することができます。

SRS WOWの効果は、「WOWコントロール」(38ページ) / 「WOW設定」(39ページ) で設定することができます。

TruBass : “On” に設定するとバランスのとれた重低音を再現することができます。

FOCUS : 擬似的にスピーカーの位置を2段上(“High”)または1段上(“Low”)を選択して音像の移動と輪郭を調節します。

SRS 3D : “On” に設定すると奥行き感のある立体的な音場にするすることができます。

SRS WOW : “TruBass”、“FOCUS” および “SRS 3D” の値を一括で設定することができます。

SRS WOW	FOCUS	TruBass	SRS 3D
LOW	Low	On	On
HIGH	High	On	On
OFF	Off	Off	Off

VOLUME OFFSET

(ボリュームオフセット)

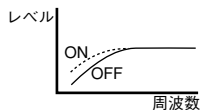
オーディオコントロールで“VOLUME OFFSET”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定しておくことができます。

イコライザーコントロール

BASS EXT

(バスエキステンデッド)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。



BASS FREQ/MIDDLE FREQ/TREBLE FREQ

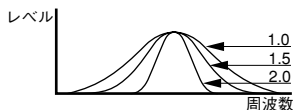
(バスフリクエンシ/ミドルフリクエンシ/トレブルフリクエンシ)

低音、中音、高音を調節する周波数(中心周波数)を、この機能を使って設定することができます。

BASS Q/MIDDLE Q

(バスクオリティーファクタ/ミドルクオリティーファクタ)

低音と中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



Function

Beep (ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

なお、Beep音はブリアウトからは出力されません。

CD Read

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができるようになります。

なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとMP3/WMAのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

- 1: MP3/WMA/CDプレイ時にMP3/WMAディスクと音楽CDを自動認識して再生します。
- 2: 音楽CDとして強制的にプレイします。

CD漢字優先表示/MD漢字優先表示

CDテキストやMDタイトルなどが漢字およびカタカナまたは英数大文字/小文字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたは英数大文字/小文字で表示するかの設定ができます。

On: 漢字で表示 (漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示)

Off: カタカナまたは英/数文字で表示

EQモード

(イコライザーモード)

イコライザーモードには“Easy”と“PRO”の2つのモードがあり、使用したいモードを選択します。

“Easy”モードは、ジャンル別に設定されたイコライザーカーブ(ロック、ポップス、ダンスなど)の選択と効果の強弱を調節できます。(41ページ)

“PRO”モードは、イコライザーカーブを選択する他に各設定項目を調節することができます。(42ページ)

MD Group

(エムディグループ)

この機能をオンにしておくと、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピートプレイ、グループランダムプレイ、およびグループセレクトのMDグループ機能を使うことができます。

このとき、グループに未登録の曲は再生されませんので、何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。

MDグループ機能については「Help? MD Group」(62ページ) もご覧ください。

MONO設定

(モノラル設定)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

Preout

(ブリアウト)

リアブリアウトをサブウーファー用出力(“SW”)に切り替えることができます。

Scroll

(スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、グループタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“Auto”に設定しておくとスクロール表示を繰り返し行い、“Manual”に設定しておくと表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

SEEKモード

(チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1: 放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2: メモリーされている放送局を順番に受信します。

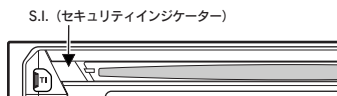
Manual: 1ステップずつ周波数が変わります。

Function

S.I.機能

(セキュリティインジケター機能)

この機能をオンにしておくと、ACCをOFFにしたときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。



オープニング表示

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

セキュリティ登録

セキュリティコードを設定しておくと、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

内蔵AMP

(内蔵アンプ出力設定)

フロントスピーカー、リアスピーカーともブリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“Off”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、ブリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

内部AUX

(エーユーエックス)

ビデオ/ナビゲーションなどの外部機器の出力を入力する機能です。

AUX端子から入力された音は、AUXソースに切り替えることにより、本システムを使って聴くことができます。

また、ファンクションセットで、ソース選択時にAUXソースも含めて切り替えるかを設定できます。AUX入力を使用していないときは、“Off”に設定しておけば、AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

ナビガイド

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。

INT：ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。

この機能を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、「接続」(78ページ)を参照して、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用するすると正常に動作しない場合があります。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- Error 04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが裏返しになっている。
- Error 05** : ディスクが裏返しになっている。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
- Eject** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- No Name** : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- No Title** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル/グループタイトル表示にしようとした。
- No Text** : ●CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
●曲名、アルバム名またはアーティスト名がないMP3/WMAファイルを再生中に、それぞれの表示にしようとした。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
- Unsupported File** : サポートされていないMP3/WMAフォーマットのファイルをプレイしようとした。
- Copy Protection** : コピープロテクトされているWMAファイルをプレイしようとした。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。“Error 77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- H-Hold** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

CDインジケーターが点滅

- : CDプレーヤーが正常に動作していない。
→CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

MDインジケーターが点滅

- : MDプレーヤーが正常に動作していない。
→MDを取り出してから、MDを入れなおしてください。

Loading (点滅)

- : ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

Reading

- : ディスクに収録されているデータのチェック中です。

取り付け時のご注意

警告



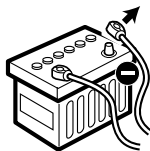
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



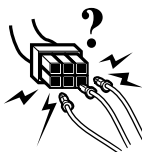
実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。



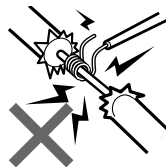
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取することは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

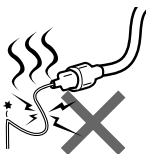


禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

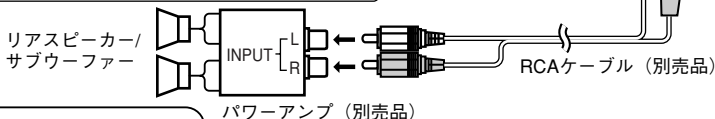
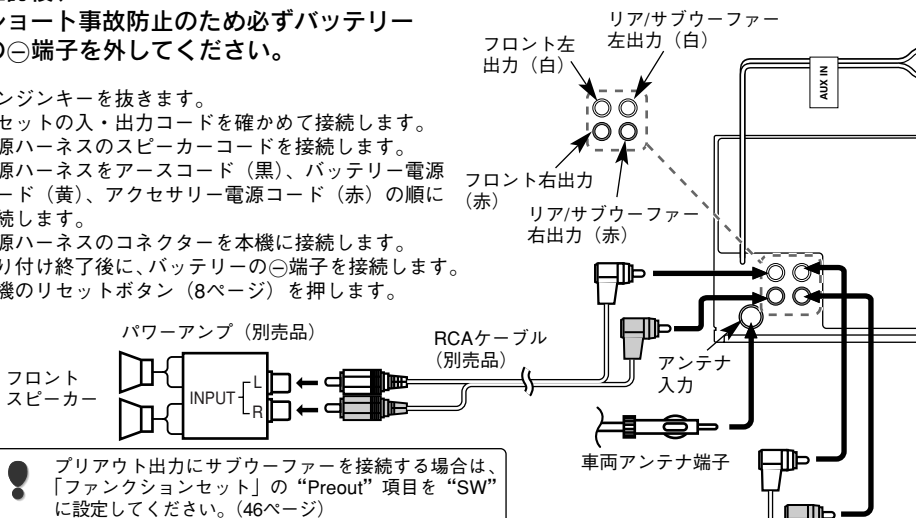
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

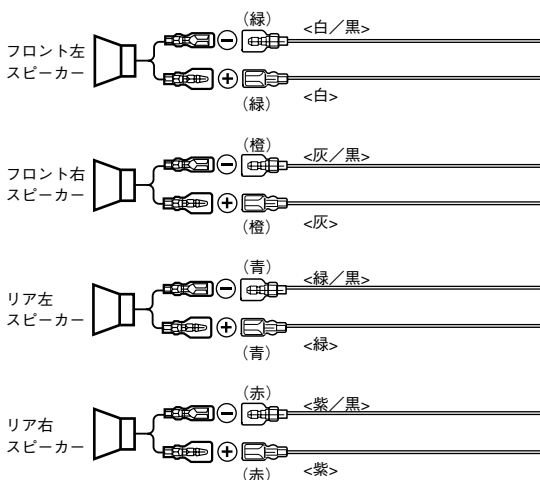
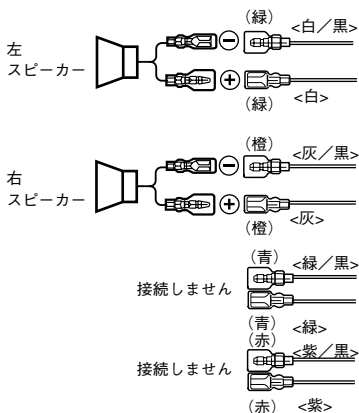
! 初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、

実施 ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。

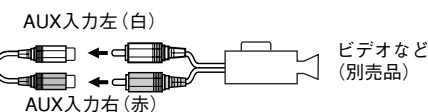


2スピーカー時のスピーカー接続方法



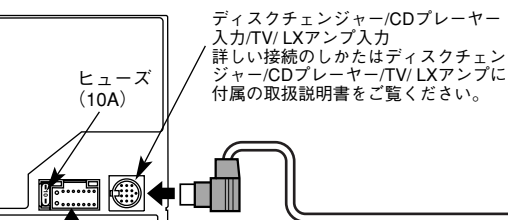
注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

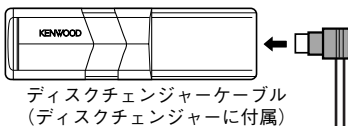


注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



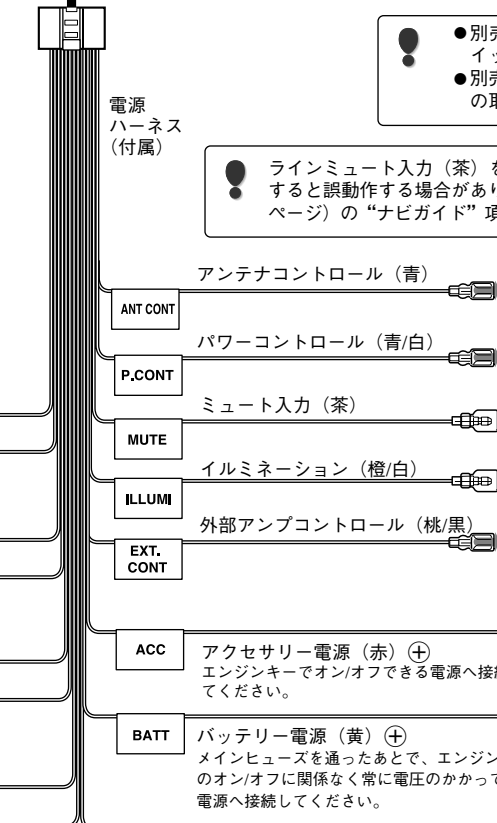
ディスクチェンジャー/LX BUSユニットなど (別売品)



- 別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーにO-Nスイッチが付いている場合は“N”に設定してください。
- 別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。



ラインミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「ファンクションセット」（46ページ）の“ナビガイド”項目を“Off”に設定してください。



アンテナコントロール（青）

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール（青/白）

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

ミュート入力（茶）

ケンウッド製ナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。

イルミネーション（橙/白）

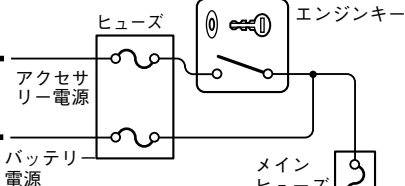
車両のイルミネーション電源端子に接続してください。

外部アンプコントロール（桃/黒）

外部アンプの外部アンプコントロール（“EXT.AMP.CONT.”）端子に接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

ACC

アクセサリ電源（赤）⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。

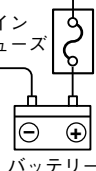
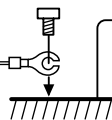


BATT

バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。

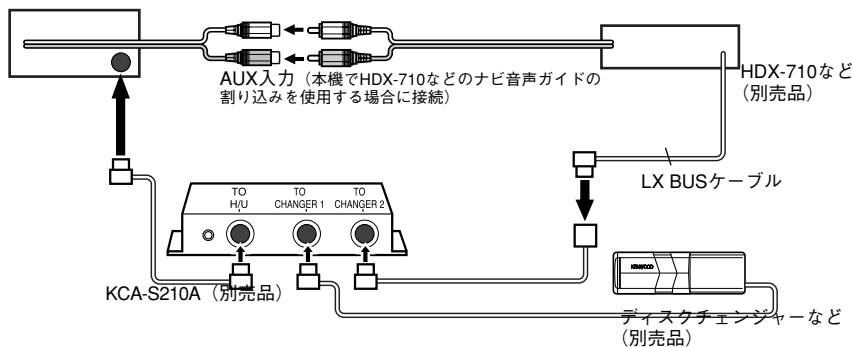
アース（黒）⊖

車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。



接続

KCA-S210A（別売品）を使ってLX BUS TVモニターを接続する場合



- KCA-S210Aに付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。
- 別売品に“O-Nスイッチ”がある場合は“N”に設定してください。
- HDX-710などは、KCA-S210Aの“TO CHANGER2”端子に接続してください。
- HDX-710などでナビ音声ガイドの割り込みを行う場合は「ファンクションセット」（46ページ）の“ナビガイド”項目を“INT”にして、LX BUSケーブルを接続してください。

取り付け

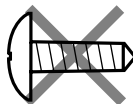
付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を 6 本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



- **取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。

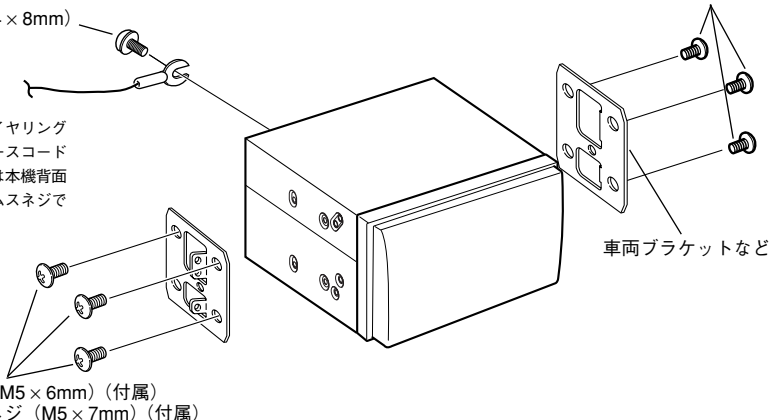
なお、取り付けネジはトラスネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



- **取り付け前にディスクで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/ イジェクトを行ってください。**

セムスネジ (M4×8mm)
(付属)

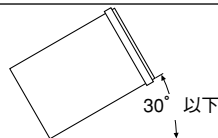
● 別売品のワイヤリング
キットにアースコード
がある場合は本機背面
に付属のセムスネジで
固定します。



トラスネジ (M5×6mm) (付属)
またはサラネジ (M5×7mm) (付属)



- **本機の実り付け角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。**
- **操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。**



● 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていたとき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より **1 年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクはあらかじめ取り出してください。）

- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

- 部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	30 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	1000~400 rpm (線速度一定・倍速)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	104 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
ステレオセパレーション	85 dB
MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード	Windows Media™ Audio 準拠

MDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	450~950 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
ステレオセパレーション	80 dB

オーディオ部

最大出力	50 W \times 4
定格出力	30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
ブリアウトレベル (FM)	1.8 V/10 k Ω
ブリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
AUX入力周波数特性	20 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
AUX入力最大電圧	1.2 V
AUX入力インピーダンス	100 k Ω

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 100 \times 155 mm
質量 (重さ)	2.2 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	6本
サラネジ (M5 \times 7mm)	6本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本
リモコン	1個
電池 (単3形)	2本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2 電話(045)933-5212 FAX(045)933-5553
カスタマーサポートセンター大阪 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。